

第 19 期 会議通訳プロ養成講座 シラバス

プレ・アドバンスレベル

Instructor	Kenneth Levin/千葉絵里
Date &	2026 年 1 月 16 日（17 日）～2026 年 6 月 19 日（20 日）予定
Time	米西海岸時間 金 4:00 PM～6:00PM（日本時間 土 9:00 AM～11:00 PM） 約 6 か月間 隔週 2 時間／120 分 全 12 回 ※ 日付は米時間と（ ）内に日本時間を表示しています。 ※ 米夏時間開始後は、時間調整が必要になります。

Introduction:

インターメディエイトレベルまで習った重要単元をしっかりと復習して、アドバンスレベルへの進級に向けての準備を意識した指導により、通訳スキル上を目指します。特に同時通訳を中心に学ぶアドバンスレベルへの準備コース。

Note: The first five lessons focus on J-E interpreting and will be conducted in English.

<対象>

- － インターメディエイトレベル修了者
- － レベルチェックにてインターメディエイトレベル修了相当と判断された方
- － 通訳の基礎力を身につけているものの、日英通訳は英日ほどうまくいかない、または同時通訳にまだ経験が浅いという方

Course Objectives:

逐次通訳：シャドウイング、サイト・トランスレーション、クイック・リスponsといった通訳のための独特の訓練法を用い、日・英両語の発音、イントネーション、語彙力、予測能力、通訳能力を高めます。一般的なビジネス通訳で、準備勉強の時間が取れる場合十分に対応できる能力を磨きます。複雑な文を短い節に分割する chunking のコツをつかみ、しっかりした文法力と一般常識に基づく理解に添いつつ、いわゆる「直訳」にこだわらず、より自然な表現訳を出していくための通訳技法を教授します。

同時通訳：インターメディエイトレベルまで同時通訳に関する学んだものを更にステップアップし、背景知識を持つ、興味のある分野に必要な準備した上、日・英両語で同時通訳が出来るようになることを目的とします。演習の内容はアドバンスレベルで用いられるようなパーソナル・プロジェクトを活用します。要約や、言い換えなど言葉の圧縮技術と自然な表現で簡潔かつ分かりやすい同時通訳に備えます。

Required Materials:

- PC (Wifi あるいは有線 LAN 接続)
- マイク付ヘッドセット (有線タイプ)
- 筆記用具 (ノートパッドとペン)
- 辞書 (Weblio <https://ejje.weblio.jp/> などのオンライン辞書または電子辞書)
- スマートフォンやボイスレコーダーなど録音/再生可能なデバイス (授業や宿題の内容によって必要)

Required Tools & Benefits:

- ☐ Zoom アカウント (毎回の授業は Zoom ウェブ会議システムを用いて実施、復習用に録画リンクを配布) <https://zoom.us/zoomrooms/software>
- ☐ Slack アカウント (授業関連のコミュニケーション用に使用。例えば、受講生と講師およびプログラムコーディネーターとの業務連絡、スケジュールの確認と調整、ホームワーク出題等)
- ☐ Facebook 非公開グループ「会議通訳トレーニング講座&ワークショップ」へのアクセス
(通訳関連の情報交換、EJ EXPERT からのお知らせ、受講生からの質問や相談などができるコミュニティ) <https://www.facebook.com/groups/1370136739737880/>

Reference Materials:

- ☐ 教科書 : EJEXPERT 通訳講師チーム著『プロの通訳技術』Vol.1
- ☐ 参考書 (アドバンスレベルに準じます) :
 - ピンカートン 嘩子・篠田顕子著『実践 英語スピーチ通訳』(英語のスピーチスタイルとその訳し方への理解を深めることができる)
 - エドワード・サイデンステッカー・松本道弘著『最新日米口語辞典』(時事用語の知識を深め、日英の表現力をつける上で役立つ)
 - 原沢伊都夫著『日本人のための日本語文法入門』(日本語文法の特殊性を理解し、日英通訳の構文を考える上で参考になる)
 - 神山孝夫著『脱・日本語なまり——英語 (+a) 実践音声学——』(発音の仕組みについて理解を深めたい方のために。CD は付属していないので、指定サイトよりダウンロードする必要がある)

※ 教科書は受講前に購入して一読しておいてください。

※ 参考書は必ずしも全て購入する必要はありません。各自が必要と思ったら購入してください。

Homework Assignment:

全員共通のホームワークは、「授業でのパフォーマンスを振り返り、最適と思う訳出を提出すること」を中心とします。「音声添削課題」では「課題/宿題」を録音した音声に対して評価／コメントをお返しします。

その他適宜課題を追加します。また、学期を通してパーソナル・プロジェクトにも取り組みます。

※ホームワークの量や内容は、受講生の通訳経験・学習歴等によって変わります。

End of Term Evaluation:

ターム終了後には講師との個人面談の機会があり、今学期の振り返りを行います。面談では、各スキルの評価、進級レベルの推薦、今後の強化・改善点のアドバイスをを行います。

Others:

授業中のパフォーマンスを拝見して、他のクラスで授業を受けたほうがその時点の実力向上により役立つと判断された場合は、他のクラスへの移動をお勧めすることがあります。

Sequence of Topics:

Session	Theme	Main Topic
1	日英第1回（ケン） 基本理念と通訳戦略	オリエンテーション、自己紹介 初見逐次通訳（初回アセスメント） 職能的哲学、日英通訳のコツ パーソナル・プロジェクトのサマリーと URL の提出
2	日英第2回（ケン） 基本的な逐次通訳スキルを磨く 同時通訳の基礎を固める	クイックレスポンス、シャドーイング、サイトラなど訓練法紹介 Summarizing and paraphrasing、ネイティブの言葉選びや イントネーションなど、日英同通能力を高める訓練法紹介
3	日英第3回（ケン） プレッシャーがかかる、 ストレスが溜まる通訳	プレッシャーが大きい環境における同通訓練法紹介 頭の回転を速くしろ、とっさに考える ・ クイックレスポンス ・ 咄嗟通訳ドリル ・ 受講生同士がスピーカーと通訳者の役割を交代する通訳演習
4	日英第4回（ケン） 逐次通訳パーソナル・プロジェクト 同時通訳パーソナル・プロジェクト	リテンション強化、通訳できるチャンクを延ばす 逐次通訳演習の内容を同時通訳します

Session	Theme	Main Topic
5	日英第5回(ケン) 同時通訳パーソナル・プロジェクト 同時通訳 初見の内容の同通練習	パーソナル・プロジェクト：同時通訳とアセスメント パーソナル・プロジェクトに似たテーマを予習なしで3分ほど日英同通演習(講師により与えられた教材を元に初見同通)
6	日英第6回(ケン) アドバンスクラスへの進級準備	アドバンス・レベルで実際に使用している教材および方法を用いて、受講生にアドバンス・クラスの日英訳演習の心構えをさせる訓練を行います。
7	英日第1回(千葉) 初回アセスメントを通じて、 個々の強み・弱みを把握(必要に応じてカリキュラムを調整)	<ul style="list-style-type: none"> ・ パーソナル・プロジェクト・オリエンテーション(URL提出) ・ 通訳基礎訓練の復習(クイック・レスポンス、シャドーイング、リプロダクション) ・ 逐次通訳演習・同時通訳演習(英日初回アセスメント)
8	英日第2回(千葉) 同時通訳のための基礎訓練 (サイトラを通じて同時通訳のための方略を磨き、日本語の語彙を練り上げる)	<ul style="list-style-type: none"> ・ クイック・レスポンス ・ サイト・トランスレーション ・ 同時通訳の基礎(ボイスオーバー・サイトラ、字幕を読む)
9	英日第3回(千葉) 逐次通訳の力を伸ばす(リテンション強化、複雑な構文の理解)	<ul style="list-style-type: none"> ・ クイック・レスポンス ・ サイト・トランスレーション ・ 逐次通訳演習(リテンション・メモ取り練習)
10	英日第4回(千葉) 同時通訳に慣れていく	<ul style="list-style-type: none"> ・ クイック・レスポンス ・ サイト・トランスレーション ・ 同時通訳演習
11	英日第5回(千葉) 同時通訳と逐次通訳のスタイルの違いを意識できるようになる	<ul style="list-style-type: none"> ・ クイックレスポンス ・ サイト・トランスレーション ・ 同時通訳と逐次通訳のスタイルの違い
12	英日第6回(千葉) プレ・アドバンス総まとめ	パーソナル・プロジェクト発表(自分の選んだ題材から2分間の同時通訳) <ul style="list-style-type: none"> ・ 総評他

※ このシラバスはあくまで標準シラバスであり、受講生の状況や学習歴に応じてカスタマイズすることがあります。